

風の便り

5号

2018/12/26

発行者 一般社団法人あゆみ会

Tel : 0771-75-9008

Fax : 0771-75-9006

12/1

美山福祉のつどい

に参加した利用者さん

ステージ発表は
太鼓や合唱を

パンやさをりの販売と

絵や生け花の作品展示



皆さんそれぞれに力を発揮しました。



わたしたち 頑張ってます

グループホームに入所して

廣瀬 登



僕は城山共同作業所で働いています。仕事の内容は、下請けや振興局の掃除、アルミ缶の回収・プレスなどです。また週末には南丹市や京都市内のイベントで作業所で作ったものや焼きそばなどの販売をすることもあります。グループホームに入ることになり、はじめは不安で不安でどうなることかと思いました。先に入っている利用者にはじめられるかもと思いつつ不安はありますが、実際いじめる人はいませんでした。日がたつにつれて少しずつ不安はなくなっていきました。今は仲良くできる人もいます。今の状態が続くと良いと思います。

この頃では、仕事から帰ると夕飯までの間に浅井君を誘って駅まで散歩しています。浅井くんのお母さんが浅井君に毎日少しでも歩いてほしいと思っておられることを聞いたからです。浅井君は「歩くのは嫌だ」「嫌だ」と言いながら僕と駅まで歩きます。そんな風に浅井君と一緒に歩くと仲間になったような気がしてうれしいです。

グループホームに入る前、休みの時は月に一回地域活動支援センターのそよかぜ土曜日に行く以外は一人で過ごしていました。今は休みの日はグループホームの人と一緒に散歩したりして過ごしています。テレビも一人で観るよりみんなと観た方が楽しいです。けれど好きな番組が観られなくて嫌な時もあります。以前よりちゃんとお風呂に入っています。ごはんもおいしく食べています。これからも仕事や趣味などいろいろなことに挑戦していきたいと思っています。

わたしたち 頑張ってます

パンの今とミライ

尾藤 清三



ぼくは、今、あゆみ工房のパン班で仕事を頑張っています。パンの種類も増えて、たくさん売れているので嬉しいです。

美山町以外でも、今以上にたくさん売れてほしいです。どこの場所でも、完売できるように、みんなで頑張りたいと思っています。

これからも、今のメンバーで、変わらずやっていきたいし、パンの新メニューも増やしたいです。パン班のメンバーがもつと増えるといいなと思います。そして、給料をもつともらえるように頑張りたいです。

僕たちが作っているあゆみ工房のパンを見かけたら、ぜひ、食べてみてください。これからもよろしくお願いします。





10月17日(水) ～大相撲鑑賞～

京都精神保健福祉推進家族連合会様からご招待をいただき、島津アリーナ京都にて大相撲鑑賞をしました。テレビ中継では見ることができない「初切(相撲の禁じ手を面白おかしく紹介)」に大笑いし、「相撲甚句(力士独特の唄)」での力士の美声が聞け、大満足の日となりました。ご招待いただきありがとうございました。



11月21日(水)

第43回クリスマスチャリティー公演
劇団四季ミュージカル
～王様の耳はロバの耳～



日産労連NPOセンター「ゆうらいふ 21」から無料招待を受けてロームシアター京都にて観劇を楽しみました。キャストと客席が一体となって歌い物語が展開していき、「感動で胸がいっぱいになった！」という感想が聞かれました。

余暇活動支援

11月26日(月)小浜海釣り&温泉



初めての釣り体験。

見事に魚を釣り上げてハイポーズ！(^_^)

若狭フィッシャーメンズ・ワープで新鮮な魚料理を堪能し、温泉に入って楽しい一日を過ごしました。



余暇活動支援の目的

休日の過ごしを社会参加することで、より豊かで充実したものにすることを目的としています。

美山産のお米を使ったおいしい米粉パン。

あなたの地域に焼きたて米粉パンをお届けします！



京都美山の米粉パン

イベントやサロンに、米粉パン・コーヒー等の
出張販売をいたします。
お気軽にお問い合わせください。

あゆみ工房



南丹市美山町島往古瀬 8

TEL:0771-75-9500

FAX:0771-75-9501

もちつき大会開催します！

つきたてを食べられるよ～

グループホーム一歩において
地域交流もちつき大会を行います。
皆さんの参加をお待ちしています。

日時 平成30年1月12日(土)
午前10時～14時頃まで

場所 グループホーム一歩

参加費 無料

出演 ぼぼたん(ボランティアグループ)



随想

最近読んだ本の中に、ピ
アな人たちの対談が載って
いた。その中にとっても気
になるところがあったので少
し紹介したい。「サポートし
てほしい人、欲しくない人」
と言うくだりだ。

「無理解で熱心な人にだけ
はかかわってほしくない。」
「あなたはこうだからこう
しなさいと型にはめたがる
人や価値観を押し付ける
人」「してあげるモードにな
っている人」などがかわ
ってほしくないと言指摘され
ている。

利用者支援の研修などで
はよく聞くことである。

しかし、日常の支援では
どうだろうか。今一度振り
返る機会をいただいた気が
する。

(T)